

地域密着型金融の取組み状況

(2023年4月～2024年3月)

1. お取引先に対するコンサルティング機能の発揮

ビジネスマッチング等を活用した販路開拓支援

お客さまの販路拡大のため、信用金庫のネットワークを活用し様々な機会を提供しております。

2023年9月、新潟県内9信用金庫主催の商談会を開催し、県内外から18バイヤーを招聘し参加企業49社、124面談を行いました。また、経営支援プラットフォーム「三条信金Big Advance」のビジネスマッチング機能の活用促進により、エリアを越えたマッチングを行っております。



人材紹介支援

当金庫は、厚生労働大臣より「有料職業紹介事業」の許可を取得し、人材紹介業務に取り組んでおります。また、内閣府が推進する「先導的人材マッチング事業」の間接補助事業者にも採択され、経営課題解決に必要な経営幹部や専門人材とのマッチング支援も積極的に行っております。

2023年5月、「さんしんOB・OGバンク」を設立し、豊富な実務経験を積んだ当金庫退職者の中から取引先の課題解決をお手伝いができる人材を紹介しております。

補助金・計画書の申請支援

当金庫では、「事業再構築補助金」、「ものづくり補助金」をはじめとした各種補助金や、「経営力向上計画」、「先端設備導入計画」等の計画書の作成から申請までのサポートを行っております。

[2023年度の主な実績]

補助金採択 19件

事業計画等作成支援 15件

新現役交流会の開催

2023年7月に、地元中小企業の課題解決のため、豊富な実務経験や専門知識を有する大企業OB（新現役）との出会いの場を提供する「新現役交流会」を開催いたしました。

すべての面談をオンラインで実施し、新潟県内5信用金庫（三条、新発田、新潟、長岡、柏崎）から44社が参加いたしました。新現役が有するスキル・ノウハウを、当地の中小企業で活用してまいります。



さんしん未来塾の運営

若手経営者で組織する「さんしん未来塾（会員数130名）」では、経営に関する知識・ノウハウを習得するため定期的に外部講師による勉強会を行うとともに、会員相互のネットワークづくりをお手伝いしております。



SDGs 導入支援サービス

当金庫は、SDGsの普及・促進のため、お取引先のSDGs宣言を支援するサービスを取扱っております。本サービスによりSDGs宣言を行った企業は当金庫HP内に掲載させていただいております。お取引先のSDGsに関する取組みを、当金庫のHPを通してたくさんの方々に紹介したいと考えております。



さんしん省エネルギー設備融資創設

当金庫は、経済産業省の補助事業である「令和5年度 省エネルギー設備投資に係る利子補給金」制度の指定金融機関として認定を受け、同制度を活用した「さんしん省エネルギー設備融資」を取り扱っております。本制度は、エネルギー消費効率が高い省エネルギー設備の新設や増設をするための設備融資に対して、最長10年間、最大1.0%の利子補給が受けられるものです。

一般財団法人省エネルギーセンターが提供する省エネ支援サービス

(一財)省エネルギーセンターでは、「経費削減したい」、「カーボンニュートラルへ向けて省エネを進めたい」などの課題解決を支援する『省エネ最適化診断』の申込受付をしております。国の補助事業のため、わずかな負担で省エネのプロによる診断を受けることができますのでぜひご活用ください。

脱炭素化への取組み支援

当金庫は、省エネ機器の販売や太陽光発電の販売・施工を手掛ける(株)千代田エネルギーとビジネスマッチング契約を締結し、太陽光発電による再生可能エネルギーの活用を進めております。2023年12月当金庫の紹介案件第1号が稼働いたしました。「三条信用金庫ゼロカーボン宣言」に基づき、お取引先の脱炭素・環境配慮に対する取組みを支援いたします。



2. 地域の面的再生への積極的な参画

カーブミラー寄贈

当金庫と三条信用金庫職員会は、地域の交通安全に役立てていただくため、1974年から三条市へカーブミラーを寄贈しております。2023年4月に6基のカーブミラーを寄贈し、合計で334基となりました。



献血

社会貢献活動の一環として、春と秋年2回の献血を実施しております。2023年度は6月15日と11月17日に実施し、合計101名の職員が協力いたしました。



ボランティア活動を通じた地域貢献

全国信用金庫協会が定める「信用金庫の日」の社会貢献事業として、「清掃活動」を実施いたしました。2023年6月15日に店舗周辺のカーブミラー清掃と通学路のごみ拾いに役職員272名が参加いたしました。これは三条信用金庫職員会として、1999年から続けている取組みです。

その他にも地域の清掃活動等のボランティアなど、地元との結びつきを深めるために、各営業店でもさまざまな活動を行っております。



こどものみらい古本募金への寄付

三条信用金庫職員会は、信金中央金庫の呼びかけに応じて「こどものみらい古本募金」に協力するため、全役職員から読み終えた古書籍等を集め、子どもたちへの支援を行う団体へ寄付いたしました。こどものみらい古本募金とは、こども家庭庁、文部科学省、独立行政法人福祉医療機構が主催しており、集めた古書籍を古本業者に送付し、買い取り額が「こどもの未来応援基金」へ寄付される仕組みです。

さんしん講演会

2023年6月、宮家 邦彦氏(外交政策研究所代表) を講師にお迎えし、「日本外交の行方～アメリカ・東アジア情勢の今後～」をテーマにご講演いただきました。

「さんしん講演会」は、各営業店のお客さまの会である「さんしん会」にご後援いただき、財界人、著名人を講師にお招きし、毎年開催しております。



フードバンクへの寄付

三条信用金庫職員会は、食料支援を必要とするご家庭や福祉施設へ無償で提供するフードバンクの活動に協力するため、2023年7月、家庭の中で食べきれない食品などを集めて「フードバンクにいがた」へ寄付いたしました。

当金庫は、持続可能な開発目標（SDGs）達成のため、誰一人として取り残さない持続可能な社会の実現に向け、これからも社会貢献活動に努めてまいります。



特殊詐欺被害防止のための活動

2023年7月、特殊詐欺被害未然防止により、本店が三条警察署より感謝状を頂きました。

お客さまの大切な財産を守る最後の砦として、三条警察署のご協力を得て、ATMコーナーで注意を促すためのチラシ配布や、窓口での被害防止訓練など特殊詐欺被害防止に取り組んでおります。



夏休みさんしんキッズセミナー

2023年7月、「夏休みさんしんキッズセミナー」を4年ぶりに開催いたしました。金融教育の一環として2010年から実施しておりますが、新型コロナウイルス予防のため2020年から開催を見合わせておりました。11回目となる今回は10組の親子にご参加いただき、お金の役割について学んだり、札勘定や本物の一億円を持つ重量体験等を通して信用金庫の仕事について知っていただく機会となりました。



軟骨伝導イヤホンの寄贈

2023年7月、耳の聞こえづらい高齢者へのサービス向上を図るため、本店、島田支店、塚野目支店、燕三条支店、本成寺支店に軟骨伝導イヤホンを設置するとともに、三条市にも同イヤホンを寄贈いたしました。軟骨伝導イヤホンは耳の周囲の軟骨に振動を与えて音を伝えることで、イヤホンを耳に軽くあてるだけで音が聞こえ、音漏れしにくく、大声での会話も必要なくなります。



三条夏祭り民謡踊り流し

2023年8月4日、新型コロナウイルスのため、4年ぶりの開催となった三条夏祭り民謡踊り流しに参加いたしました。三条市内店舗の役職員約150名がそろいの浴衣で踊り、祭りを盛り上げました。祭りのフィナーレとなる翌日の大花火大会では、当金庫が提供した花火も夜空を彩りました。



「さんしん年金寄席」の開催

当金庫で年金をお受け取りいただいているお客さまを対象に「さんしん年金寄席」を2023年9月に開催いたしました。人気番組「笑点」でもご活躍されている林家たい平氏や、林家あずみ氏、林家さく平氏をお迎えし、抽選でご招待した約1,000名のお客さまに、落語や三味線漫談をお楽しみいただきました。



「燕三条工場の祭典」への協力

2023年10月26日(木)～29(日)に開催された「燕三条工場の祭典2023」に協力し、参加工場のイベントを支援するため職員を派遣いたしました。のべ22名の職員が受付や駐車場の案内などのお手伝いをいたしました。また、信用金庫のネットワークを活用し、工場の祭典の案内を郵送し、県内外から職員や外郭団体の研修等で来場していただくことが出来ました。



ファミリーバレーボール大会

2023年11月に三条市体育文化会館で「第42回さんしんファミリーバレーボール大会」を開催し、全18チーム（228名）に参加いただきました。

三条市を中心とする地域の皆さまの健康増進と親睦を図るため1978年から開催しており、小中学校単位で父母、教員で編成するPTAの部と町内・企業等で編成された一般の部でそれぞれ試合を行いました。

